



# ひたちなか市長定例記者会見次第

日時：令和6年2月29日（木）午後2時30分  
会場：第3分庁舎 防災会議室1・2

## 1 開会

## 2 市議会提出予定案件

(1) 令和6年第1回ひたちなか市議会3月定例会提出予定案件

- ・報告案件について（報告第1号～5号）
- ・一般議案について（議案第1号～48号）

(2) ひたちなか市令和6年度の予算概要

…P.02～P.16

## 3 その他の説明案件

(1) ひたちなか市30周年記念事業について

…P.18

## 4 イベント情報

(1) 国指定史跡 虎塚古墳石室壁画の一般公開 ほか

…P.20



# ひたちなか市の令和6年度当初予算の概要

一般会計	607億1,300万円
特別会計	480億9,557万円
総額	1,088億 857万円

一般会計，特別会計合わせた総額が過去最大の予算規模

## 6本の柱

1. 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり
2. 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくり
3. 子育て世代に選ばれるまちづくり
4. 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり
5. 快適で機能的な住みよいまちづくり
6. 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり



## 令和6年度当初予算のポイント

- ★30周年を契機に，更なる発展を目指すための予算を編成
- ★扶助費などの義務的経費や，物価高騰・人件費上昇による委託料などが増加する中，事業の優先順位を考慮し，財源不足のための基金繰入を前年度並に抑制

## 予算計上した主な事業について

### ◎30周年記念事業

- ・年間を通して，芸術，文化，スポーツ等，様々な分野の事業を実施

※ふるさと納税を積立てた「魅力あるまちづくり基金」を活用し記念事業を実施

### ◎これまでの主要事業の推進

- ・雨水幹線整備 ・ 河川改修 ・ 高場陸橋4車線化
- ・ 消防本部 ・ 笹野消防署建設 ・ 新中央図書館建設

### ◎将来につながる各種計画を策定

- ・ 第4次総合計画 ・ 中心市街地エリアのまちづくり計画





**1 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり**

○防災情報配信事業

382,716千円

- ・災害時等における市民への情報伝達手段をより確実なものとするため、引き続き防災行政無線の屋外拡声子局のデジタル化更新工事を進める。
- ・ひたちなか安全・安心メールやSNSなどの活用により、情報伝達手段の多様化に努める。

**【担当】生活安全課**

○【補正計上】災害時重要給水施設配水管更新事業

246,300千円

- ・災害時に重要拠点となる施設（市役所やひたちなか総合病院、災害時に指定避難所となる学校や行政施設など）に給水する配水管について、災害に強い強靱な耐震管に更新する事業を計画的に進める。

**【担当】水道事業所**





**1 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり**

○**雨水幹線整備事業**

2,316,190千円

浸水被害解消に向けた雨水幹線等の整備を進める。

- ・ 高場流域：高場雨水1号幹線,高場雨水4号幹線, 雨水調整池の整備
- ・ 大島流域：大島第1幹線及び大島第2幹線の整備
- ・ 東部第2, 武田, 佐和駅東及び船窪土地区画整理地内：雨水幹線の整備

**【担当】 河川課**

○**広域消防運営事業**

328,989千円

消防本部・笹野消防署の庁舎建替え

- ・ 令和6年度末の供用開始を目指し, 指令システム及びデジタル無線システムの全面的な更新を含めた庁舎建設工事を進める。

**【担当】 広域・消防本部**



## 2 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくり

### ○ 【新規】 介護予防ポイント事業

8,730千円

- ・地域の介護予防活動の支援・担い手の育成を図るため、介護予防に資する通いの場への参加者やボランティアに対しポイントを付与し、ポイント数に応じた記念品を贈与する。

【担当】 高齢福祉課

### ○ 【拡大】 地域包括支援センター 運営事業

151,250千円

- ・相談支援体制の充実・強化を図るため、地域包括支援センターを新たに1か所増設する。

【担当】 高齢福祉課



## 2 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくり

### ○後期高齢者保健事業

36,431千円

- ・ 健診結果等のデータを活用した高齢者への個別支援や、地域の体操教室などでの集団指導をきめ細かく行い、高齢者の健康増進を図る。

【担当】 高齢福祉課

### ○地域密着型サービス施設整備事業

83,061千円

- ・ 新たに開設予定の「介護老人福祉施設」及び「小規模多機能型居宅介護事業所」の整備に要する経費を支援する。

【担当】 介護保険課





**3 子育て世代に選ばれるまちづくり**

○ **【新規】 低所得妊婦支援事業**

300千円

- ・ 低所得の妊婦に対し，産科受診を促すとともに経済的負担を軽減するため，初回産科受診料の助成事業を開始する。

**【担当】 子ども未来課**

○ **【拡大】 産後ケア事業**

3,838千円

- 産後も安心して子育てができる環境を整備する。
- ・ 自宅に助産師等が訪問するアウトリーチ型の導入
  - ・ 利用可能日数の増加，利用者負担の軽減措置の拡大

**【担当】 子ども未来課**

○ **【新規】 乳児健康診査（1か月児）事業**

6,241千円

- ・ 生後1か月頃の乳児に対する健康診査費用の助成を行うことにより，出産後から切れ目のない効果的な伴走型相談支援を実施する。

**【担当】 子ども未来課**





### 3 子育て世代に選ばれるまちづくり

○ **【新規】 学校給食公会計化事業**

725,228千円

- ・ 令和6年度より学校給食の会計処理を私会計から公会計に移行する。

【担当】 保健給食課

○ **【拡大】 奨学資金貸与事業**

11,160千円

- ・ 貸与対象の拡大：高等学校4，5年生に相当する「高等学校専攻科」を対象に加える。
- ・ 貸与条件の緩和：保証人の居住地を市内から国内に緩和する。

【担当】 教・総務課



## 4 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

### ○ほしいも振興事業

261千円

- ・「ひたちなか市産ほしいも」の魅力を、県外でのイベント実施等を通して全国に発信する。

【担当】 農政課

### ○魚食普及推進事業

5,000千円

- 本市産水産物の消費拡大や魅力の発信を目的として各種イベントの開催を支援する。

(主なイベント)

- ・「みなと産業祭」での地魚PR
- ・水産物の加工等が体験できる「親子でめぐる水産物バスツアー」
- ・初心者向けの「初めての魚料理教室」

- 魚食普及大使に委嘱した「さかなクン」の認知度を活かした魚食の普及活動を支援する。

【担当】 水産課



## 4 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

### ○サイクルツーリズム推進事業

1,000千円

- ・観光客の滞在・宿泊を促進するため、商工会議所が主催する「サイクリングDEひたちなか」の開催に併せたイベントを実施する。

【担当】観光振興課

### ○【補正計上】茨城港常陸那珂港区建設事業

102,960千円

- ・令和4年の取扱貨物量が過去最高を更新したほか、令和5年2月に中央ふ頭地区D岸壁が全面供用開始された。
- ・県や東海村と連携し、国内外へのポートセールスやコンテナ貨物集荷促進事業に引き続き取り組む。

【担当】企画調整課

### ○【拡大】中小企業支援事業

11,500千円

- ・中小企業の事業活性化を図るため、新製品等の開発、販路開拓、人材の育成や確保に向けた取組を補助する。
- ・新規創業者に向けた補助制度を創設し、起業の支援と促進を図る。

【担当】商工振興課



## 4 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

### ○ふるさと納税推進事業

200,862千円

#### ○個人版ふるさと納税

- ・返礼品提供事業者及び返礼品の拡充により寄付額は順調に推移。（令和5年度12月末の時点での寄付件数2万件以上、寄付額3億円超）
- ・引き続き、返礼品の拡充、地域おこし協力隊の活用等を通して、本市の魅力発信や産業の活性化、寄付受入件数の増加による自主財源の確保につなげる。

#### ○企業版ふるさと納税

- ・自治体と企業とのマッチング等に知見のある民間事業者と連携し、企業とのパートナーシップの構築に努める。

【担当】 企画調整課



## 5 快適で機能的な住みよいまちづくり

### ○東中根高場線整備事業

140,400千円

- ・本市と水戸市，那珂市を広域に結ぶ重要な路線であることから，完全4車線での本年12月末供用開始を目指し，引き続き整備を進める。

【担当】都市計画課

### ○【新規】新中央図書館整備事業

74,657千円

- ・東石川第4公園敷地内に建設する新中央図書館の設計業務に着手する。

【担当】中央図書館

### ○【新規】中心市街地まちづくり計画策定事業

13,000千円

- ・新中央図書館の整備にあわせて，中心市街地のにぎわいや活力を創出するため，ワークショップ等を通じて多様な意見を取り入れながら，官民が一体となり，エリア全体の価値を向上させるための計画策定に取り組む。

【担当】企画調整課





## 5 快適で機能的な住みよいまちづくり

### ○【補正計上】 湊線支援事業

126,278千円

- ・ 令和5年度の利用者数は、過去最高であった令和4年度の約112万人を超える見込み。
- ・ 自立的・安定的な事業運営に向けて、おらが湊鐵道応援団，沿線の市民の皆様や高校等と連携しながら，更なる利用促進に努める。
- ・ 安全な運行を確保するための設備投資に対する補助を，国や県と協調して実施する。

【担当】 企画調整課

### ○【新規】 再生可能エネルギービジョン策定事業

12,271千円

- ・ 将来的なカーボンニュートラルの実現に向けた取組として，今後の再生可能エネルギー導入に関する方向性を示すビジョンを策定する。

【担当】 環境政策課



## 6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

### ○【新規】協働のまちづくり推進事業

390千円

- ・ 地域において活躍する多様な活動団体の交流の場として「自治会×市民活動団体 まちづくりcafé」を開催し、まちづくりの更なる活性化を図る。

【担当】市民活動課

### ○【新規】第4次総合計画策定事業

14,658千円

- ・ 令和8年度を初年度とする第4次総合計画策定に向けて、キックオフイベントやワークショップ等を開催し、幅広く市民の声を聴き、計画に反映させる。

【担当】企画調整課



## 6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

### ○マーケティング推進事業

53,804千円

本市の魅力や住みやすさを発信し、様々な事業を通じてつながった方々と共感を生むためのコミュニケーションを図り、多くの方々にひたちなか市のファンになっていただく取組を進める。

(主な事業)

・ 学生エール便事業	4,756千円
・ 絆構築プロジェクト事業	4,485千円
・ 市民サポーターによるSNSを活用したまちの魅力発信事業	502千円
・ ファン共創事業	5,241千円
・ まちの魅力発信（シティプロモーション）事業	4,534千円
・ 海浜公園入園券引換券・スマイルあおぞらバス乗車無料券 プレゼント事業	1,521千円
・ お試し移住ツアー事業	523千円
・ 移住フェア等での情報発信事業	300千円
・ わくわく茨城生活実現事業移住支援金事業	30,400千円

【担当】 企画調整課





# その他説明案件

## 30周年記念事業について





## 「ひたちなか市誕生30周年記念事業」について

今年、ひたちなか市は旧勝田市，旧那珂湊市の合併により誕生してから30周年という，大きな節目を迎えます。令和6年度は1年を通じ，祝賀行事として「ひたちなか市誕生30周年記念事業」の実施を計画しております。

<p>基本方針</p>	<p>記念事業は，令和6年4月より1年間を通して，文化，芸術，スポーツ，産業，教育等，様々な分野において実施することとします。また，新規事業だけでなく，知名度や集客力の高い既存事業や他団体が実施する事業等についても記念事業として位置付け，市民はもとより，本市と関わりを持つ方々とともに祝う機会の充実を図ります。</p> <p>このように30周年を祝う多様な機会を創出することで，より多くの方々が本市の魅力を感じ，まちに対するシビックプライド（誇りや愛着）を高めて，本市のキャッチコピーである「ひとが咲くまち。ひたちなか」のとおり，自分らしい花を咲かせ，いきいきと活躍できる魅力的なまちに成長していけるよう取り組んでまいります。</p>
<p>事業概要</p>	<p>■事業数 39事業（※庁内17課が担当）</p> <p>■事業期間 令和6年4月から令和7年3月まで</p> <p>■事業の特色</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市主催事業のほか，「ネモフィラ早朝満喫鑑賞体験」など他団体と連携して実施する事業，プロ野球セントラルリーグの公式戦や「ロック・イン・ジャパン・フェスティバル」など民間事業者が実施する事業，市民公募事業を実施。</li><li>・市主催事業については，新規事業のほか，知名度や集客力の高い既存事業も記念事業として実施</li></ul>





# イベント情報

**虎塚古墳石室壁画一般公開 他1件**



# 国指定史跡 虎塚古墳石室壁画春季一般公開

国指定史跡 虎塚古墳石室壁画の一般公開を行います。実物の壁画を見学できる大変貴重な機会ですので、たくさんの方々の来場をお待ちしております。

公開期間	令和6年3月20日（水・祝）から3月24日（日） 令和6年3月29日（金）から3月31日（日）（計8日間）
公開時間	午前9時00分～午後0時15分 午後1時30分～午後4時15分
場所	虎塚古墳（ひたちなか市中根3494-1）
観覧料	大人160円（130円） 小中学生80円（60円）※（ ）は20人以上の団体
概要	<p>虎塚古墳は、7世紀初頭（約1400年前）に造られた前方後円墳です。</p> <p>後円部に横穴式石室があり、石室内に彩色壁画が見られます。壁画は、白色粘土を下塗りした上に赤色顔料のベンガラ（酸化第二鉄）で丸や三角などの幾何学紋様のほか、楯・鉾・大刀などの当時の武器や武具類などが描かれています。</p> <p>わが国で発見された装飾古墳の中でも、紋様が極めて豊富であり、また、保存状態が良いということで昭和49年、国指定史跡となりました。</p> <p>壁画は春と秋の年2回、一般公開しています。</p>



# ひたちなか市お土産品磨き上げプロジェクト

## 3周年記念スタンプラリー



開催日	<p>【第1弾】 1月19日(金)から3月11日(月)まで          【第2弾】 4月1日(月)から5月12日(日)まで (予定)</p>
主催	ひたちなか市観光協会
内容	<p>ひたちなか市観光協会が市と連携して取り組む「SHIO_KAZE」プロジェクト。市民の誇れるお土産品をコンセプトに、令和3年度から合計19事業者の商品を磨き上げました。</p> <p>「SHIO_KAZE」プロジェクトの3周年を記念し、SHIO_KAZE事業者の店舗を巡る、スタンプラリーを開催しています。条件を満たすことでSHIO_KAZE商品の景品と交換できます。詳しくは、市HPをご覧ください。</p>

市HP▶





